

平成20年12月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年10月22日

上場会社名 太洋工業株式会社 上場取引所 JASDAQ
 コード番号 6663 U R L <http://www.taiyo-xelcom.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 細江 美則
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 阪口 豊彦 T E L (073)431-6311

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年12月期第3四半期の連結業績 (平成19年12月21日 ~ 平成20年9月20日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年12月期第3四半期	4,014	△11.1	220	△63.3	195	△66.6	△98	—
19年12月期第3四半期	4,516	△4.7	602	△19.2	585	△21.1	323	△24.1
19年12月期	6,155	—	823	—	796	—	455	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年12月期第3四半期	△16	76	—	—
19年12月期第3四半期	55	24	55	09
19年12月期	77	90	77	64

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
20年12月期第3四半期	6,203		4,041		65.1		690	72
19年12月期第3四半期	6,690		4,102		61.3		701	78
19年12月期	6,739		4,251		63.1		726	75

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年12月期第3四半期	89		△99		△172		173	
19年12月期第3四半期	340		△647		395		302	
19年12月期	722		△772		193		356	

2. 平成20年12月期の連結業績予想 (平成19年12月21日 ～ 平成20年12月20日)

【参考】

(%表示は対前年増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
通 期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
	5,464	△11.2	200	△75.6	163	△79.5	△134	—	△23	01

(注) 平成20年8月1日発表の平成20年12月期中間決算短信からの変更はありません。

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報及び合理的と考える一定の前提に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、後記【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報 (添付資料の4ページ) をご参照下さい。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、米国のサブプライムローンによる金融危機の拡大に加え、原油をはじめとする原材料価格の高騰、輸出の増勢の鈍化、企業収益の悪化及び個人消費の伸び悩み等から景気の後退懸念が強まりました。当社グループが属する電子基板業界は、液晶テレビ、デジタルスチルカメラ、DVDレコーダーを中心としたデジタル家電の需要が好調に推移したものの、収益面においては、原材料価格の高騰及び韓国・台湾企業等を含む国内外の企業間競争の激化による製品価格の低下等により厳しい経営環境が続きました。

このような経済環境の下、当社グループの主力事業である電子基板等事業においては、操作しやすく高画質機能を持つ一眼レフカメラの国内外市場が堅調に拡大し、新機種・新製品開発が積極的に行われたことにより一部のセットメーカーからの受注は好調に推移したものの、FPCメーカーの試作営業との競合や一部のセットメーカーの事業撤退・縮小及び受注単価の下落等に伴い、セットメーカー向け及びFPCメーカー向けの売上高がともに減少したことから、売上高3,385百万円（前年同期比9.2%減）となりました。基板検査機事業においては、薄型テレビをはじめとするデジタル家電の需要増に対応するために、主要顧客である一部の電子基板量産メーカーは国内外に生産拠点を設ける等の事業増強を進めているものの、海外の市場開拓を積極的に進める基板検査機メーカーとの競合により、売上高454百万円（同15.5%減）となりました。鏡面研磨機事業においては、グラフィック印刷業界の不振に伴い、依然として機械の設備投資意欲が後退していることから、売上高174百万円（同29.9%減）となりました。これらの結果、連結売上高4,014百万円（同11.1%減）となりました。

損益については、主として売上高減少に伴う利益の減少及び受注単価下落による相対的な売上高外注加工費率の上昇等の影響により、営業利益220百万円（同63.3%減）、経常利益195百万円（同66.6%減）、四半期純損失98百万円（前年同期は323百万円の利益）となりました。

なお、中間期において、基板検査機事業及び鏡面研磨機事業における建物及び機械装置等の減損損失93百万円の計上、並びにたな卸資産評価損及び役員退職慰労引当金等に係わる繰延税金資産87百万円の取り崩しを行いました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

流動資産は、前連結会計年度末に比べ450百万円減少し、2,629百万円（前年同期比15.9%減）となりました。これは主に、運転資金の需要に対応するため現金及び預金が296百万円減少したこと及び売上高の減少に伴い売上債権が123百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ85百万円減少し、3,573百万円（同0.3%増）となりました。これは主に、時価評価により投資有価証券が48百万円減少したことによるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ358百万円減少し、1,534百万円（同20.0%減）となりました。これは主に、支払方法の変更により仕入債務が307百万円減少したこと及び未払法人税等が70百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ31百万円増加し、627百万円（同6.5%減）となりました。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ209百万円減少し、4,041百万円（同1.5%減）となりました。これは主に、利益剰余金が185百万円減少したことによるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、税金等調整前四半期純利益98百万円に加え、減価償却費、売上債権の減少、減損損失等により資金が増加した一方、仕入債務の減少、前連結会計年度の法人税等の支払い等の要因により資金が減少し、営業活動により獲得した資金は、89百万円となりました。また、投資活動に使用した資金が99百万円、財務活動により使用した資金が172百万円となり、その結果、資金は前連結会計年度末に比べ183百万円減少し、当第3四半期末には173百万円（前年同期比42.8%減）となりました。

当第3四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、89百万円（前年同期比73.6%減）となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益98百万円に加え、減価償却費179百万円、売上債権の減少125百万円、減損損失93百万円等により資金が増加した一方、仕入債務の減少278百万円、前連結会計年度の法人税等の支払い160百万円等の要因により資金が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、99百万円（前年同期比84.6%減）となりました。これは主として、定期預金の減少により資金が増加した一方、有形固定資産の取得に200百万円使用したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、172百万円（前年同期は395百万円の獲得）となりました。これは主として、配当金の支払い87百万円及び長期未払金の支払い71百万円を行ったことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く事業環境は、原油をはじめとする原材料価格の高騰及びデジタル家電を中心とした価格競争の激化による販売価格の低下等により今後も厳しい状況が続くものと予想しております。このような事業環境の下、電子基板等事業においては、顧客ニーズに合った短納期での製造、ワンストップサービス体制及び当社グループの回路形成技術を活かした積極的な営業展開を図ることにより収益の向上に努めてまいります。また、プローバーの製品ラインアップの充実を図り、消耗品であるバンプFPCの継続納入に注力いたします。更に、エレクトロフォーミング事業の既存製品の販路拡大とともに新たな用途開発を行うことで事業の拡大を図ってまいります。基板検査機事業においては、デジタル家電の需要増に伴い、主要顧客である電子基板量産メーカーは価格競争に対応するために国内外へ生産拠点を設ける等、事業増強の傾向は依然続いており、今後も電子基板業界における技術革新に伴い、より高精度な品質検査が求められると考えていることから、海外市場への外観検査機の販売を特に強化し、売上の増加と利益の確保に努めてまいります。損益については、売上高減少に伴う利益の減少及び退職金制度の見直しによる労務費及び人件費の増加等により前期と比較して減益を見込んでおります。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用
法人税等の計上基準に簡便的な方法を採用しております。
その他影響額が僅少なものについても一部簡便的な方法を採用しております。
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

科目	前年同四半期末 (平成19年12月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年12月期 第3四半期末)	増減		(参考) 前期末 (平成19年12月期末)
	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)	増減率 (%)	金額 (千円)
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	965,382	738,108	△227,273		1,034,948
2. 受取手形及び売掛金	1,241,231	1,028,126	△213,104		1,151,502
3. たな卸資産	769,199	804,022	34,823		778,338
4. 繰延税金資産	108,755	20,444	△88,310		85,095
5. その他	43,178	39,007	△4,171		30,782
流動資産合計	3,127,746	2,629,710	△498,035	△15.9	3,080,668
II 固定資産					
1. 有形固定資産					
(1) 建物及び構築物	689,338	782,208	92,870		812,699
(2) 機械装置及び運搬具	324,317	314,944	△9,373		309,924
(3) 土地	1,318,248	1,374,577	56,328		1,321,742
(4) その他	151,154	23,402	△127,751		47,758
有形固定資産合計	2,483,058	2,495,133	12,074	0.5	2,492,125
2. 無形固定資産	52,357	44,695	△7,662	△14.6	53,307
3. 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券	253,382	276,654	23,272		325,331
(2) 長期性預金	300,000	300,000	—		300,000
(3) 保険積立金	306,766	303,481	△3,285		308,890
(4) 繰延税金資産	95,674	64,115	△31,559		87,396
(5) その他	89,211	102,885	13,673		105,446
貸倒引当金	△17,329	△13,013	4,316		△13,232
投資その他の資産合計	1,027,704	1,034,122	6,418	0.6	1,113,832
固定資産合計	3,563,120	3,573,950	10,830	0.3	3,659,265
資産合計	6,690,866	6,203,661	△487,205	△7.3	6,739,934

科目	前年同四半期末 (平成19年12月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年12月期 第3四半期末)	増減		(参考) 前期末 (平成19年12月期末)
	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)	増減率 (%)	金額 (千円)
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 支払手形及び買掛金	503,624	332,059	△171,565		639,331
2. 短期借入金	911,116	780,101	△131,015		783,122
3. 未払法人税等	45,168	41,966	△3,202		112,098
4. 賞与引当金	106,953	67,776	△39,177		—
5. 製品保証引当金	14,128	7,300	△6,828		8,220
6. その他	335,553	304,958	△30,595		349,600
流動負債合計	1,916,543	1,534,160	△382,382	△20.0	1,892,372
II 固定負債					
1. 社債	100,000	100,000	—		100,000
2. 長期借入金	226,929	163,500	△63,429		174,146
3. 長期未払金	115,763	135,722	19,959		106,700
4. 退職給付引当金	124,894	121,023	△3,871		108,778
5. 役員退職慰労引当金	104,084	107,468	3,383		106,468
固定負債合計	671,671	627,714	△43,957	△6.5	596,093
負債合計	2,588,215	2,161,875	△426,340	△16.5	2,488,466
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資本金	793,255	793,255	—	—	793,255
2. 資本剰余金	916,555	916,555	—	—	916,555
3. 利益剰余金	2,402,786	2,349,557	△53,228	△2.2	2,535,329
株主資本合計	4,112,596	4,059,367	△53,228	△1.3	4,245,139
II 評価・換算差額等					
1. その他有価証券評価差額金	△6,934	△19,019	△12,084	—	6,272
2. 為替換算調整勘定	△250	370	621	—	55
評価・換算差額等合計	△7,185	△18,648	△11,463	—	6,328
III 少数株主持分	△2,760	1,066	3,826	—	—
純資産合計	4,102,651	4,041,785	△60,865	△1.5	4,251,467
負債純資産合計	6,690,866	6,203,661	△487,205	△7.3	6,739,934

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成19年12月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年12月期 第3四半期)	増減		(参考) 前期 (平成19年12月期)
	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)	増減率 (%)	金額 (千円)
I 売上高	4,516,618	4,014,270	△502,348	△11.1	6,155,558
II 売上原価	2,964,722	2,856,461	△108,260	△3.7	4,067,601
売上総利益	1,551,896	1,157,808	△394,088	△25.4	2,087,956
III 販売費及び一般管理費	949,245	936,854	△12,390	△1.3	1,264,206
営業利益	602,651	220,953	△381,697	△63.3	823,749
IV 営業外収益	26,358	27,188	829	3.1	33,099
V 営業外費用	43,663	52,834	9,171	21.0	60,455
経常利益	585,346	195,306	△390,039	△66.6	796,394
VI 特別利益	—	—	—	—	8,472
VII 特別損失	8,002	96,989	88,987	—	8,653
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	577,343	98,316	△479,026	△83.0	796,213
法人税、住民税及び 事業税	264,124	90,522	△173,601	△65.7	325,024
法人税等調整額	△3,594	105,077	108,672	—	19,389
少数株主利益又は 少数株主損失 (△)	△6,263	738	7,001	—	△3,821
四半期 (当期) 純利益 又は四半期純損失 (△)	323,077	△98,021	△421,099	—	455,620

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成19年12月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年12月期 第3四半期)	(参考) 前期 (平成19年12月期)
区分	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)
I 営業活動による キャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	577,343	98,316	796,213
減価償却費	150,661	179,203	210,488
減損損失	—	93,959	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	25,571	12,245	9,455
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1,858	1,000	4,241
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	1,507	△920	△4,401
賞与引当金の増減額 (△は減少)	85,898	67,776	△21,055
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	8,230	△219	4,132
受取利息及び受取配当金	△10,009	△10,140	△12,300
支払利息	13,991	16,985	20,415
固定資産除却損	4,559	950	5,001
売上債権の増減額 (△は増加)	166,417	125,083	256,146
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△79,154	△25,683	△88,333
仕入債務の増減額 (△は減少)	△58,494	△278,293	57,776
保険積立金の増減額 (△は増加)	13,208	—	—
その他	△31,086	△22,832	13,148
小計	870,503	257,432	1,250,929
利息及び配当金の受取額	10,009	10,140	12,300
利息の支払額	△14,625	△16,969	△21,484
法人税等の支払額	△525,060	△160,655	△519,031
営業活動による キャッシュ・フロー	340,826	89,948	722,715

	前年同四半期 (平成19年12月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年12月期 第3四半期)	(参考) 前期 (平成19年12月期)
区分	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)
II 投資活動による キャッシュ・フロー			
定期預金の純増減額 (△は増加)	△1,178	113,242	△16,611
有形固定資産の取得による支出	△646,222	△200,409	△680,938
無形固定資産の取得による支出	△2,285	△12,918	△9,825
投資有価証券の取得による支出	△3,593	△3,272	△52,769
投資有価証券の売却による収入	5,800	3,400	5,800
その他	50	541	△17,819
投資活動による キャッシュ・フロー	△647,429	△99,416	△772,164
III 財務活動による キャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額 (△は減少)	364,999	△5,330	237,001
長期借入れによる収入	280,000	150,000	280,000
長期借入金の返済による支出	△105,457	△158,337	△158,236
長期未払金の支払いによる支出	△63,261	△71,543	△84,644
少数株主からの払込による収入	3,763	—	3,763
株式の発行による収入	3,524	—	3,524
親会社による配当金の支払額	△87,651	△87,750	△87,651
財務活動による キャッシュ・フロー	395,918	△172,960	193,757
IV 現金及び現金同等物に係る換算 差額	787	△1,168	△72
V 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	89,315	△183,597	144,235
VI 現金及び現金同等物の期首残高	212,380	356,616	212,380
VII 現金及び現金同等物の期末残高	302,483	173,018	356,616

(4) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

事業の種類別 セグメントの名称	前年同四半期 (平成19年12月期 第3四半期)		当四半期 (平成20年12月期 第3四半期)		(参考) 前期 (平成19年12月期)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
電子基板等事業	3,729,458	79.5	3,388,224	82.8	4,983,137	81.4
基板検査機事業	702,186	15.0	416,134	10.2	811,608	13.2
鏡面研磨機事業	260,177	5.5	286,261	7.0	329,591	5.4
合計	4,691,821	100.0	4,090,619	100.0	6,124,336	100.0

- (注) 1. セグメント間の内部振替前の数値であります。
 2. 金額は販売価格によっております。
 3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注状況

事業の種類別 セグメントの名称	前年同四半期 (平成19年12月期 第3四半期)		当四半期 (平成20年12月期 第3四半期)		(参考) 前期 (平成19年12月期)	
	受注高 (千円)	受注残高 (千円)	受注高 (千円)	受注残高 (千円)	受注高 (千円)	受注残高 (千円)
電子基板等事業	3,721,718	107,636	3,378,089	76,219	4,978,460	83,205
基板検査機事業	720,279	290,012	514,483	147,474	800,367	87,782
鏡面研磨機事業	161,205	52,000	271,682	186,380	273,753	89,100
合計	4,603,202	449,648	4,164,254	410,073	6,052,581	260,087

- (注) 1. セグメント間の取引については、相殺消去しております。
 2. 金額は販売価格によっております。
 3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

事業の種類別 セグメントの名称	前年同四半期 (平成19年12月期 第3四半期)		当四半期 (平成20年12月期 第3四半期)		(参考) 前期 (平成19年12月期)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
電子基板等事業	3,729,656	82.6	3,385,075	84.3	5,010,829	81.4
基板検査機事業	538,257	11.9	454,791	11.3	820,575	13.3
鏡面研磨機事業	248,704	5.5	174,402	4.4	324,153	5.3
合計	4,516,618	100.0	4,014,270	100.0	6,155,558	100.0

- (注) 1. セグメント間の取引については、相殺消去しております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3. 主要な販売先については、総販売実績に対する割合が100分の10以上の相手先がないため、記載を省略しております。

6. 四半期個別財務諸表

(1) (要約) 四半期貸借対照表

科目	前年同四半期末 (平成19年12月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年12月期 第3四半期末)	増減		(参考) 前期末 (平成19年12月期末)
	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)	増減率 (%)	金額 (千円)
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	814,962	641,028	△173,934		887,648
2. 受取手形	182,144	157,622	△24,522		104,326
3. 売掛金	1,059,100	870,909	△188,191		1,047,176
4. たな卸資産	662,148	625,412	△36,735		685,992
5. 繰延税金資産	108,755	20,444	△88,310		85,095
6. その他	62,858	32,193	△30,665		28,305
流動資産合計	2,889,970	2,347,610	△542,360	△18.8	2,838,545
II 固定資産					
1. 有形固定資産					
(1) 建物	619,184	690,448	71,263		746,092
(2) 機械及び装置	315,677	313,030	△2,646		301,774
(3) 土地	1,172,654	1,228,982	56,328		1,176,147
(4) その他	202,662	111,354	△91,308		96,901
有形固定資産合計	2,310,179	2,343,816	33,637	1.5	2,320,916
2. 無形固定資産	52,054	44,695	△7,358	△14.1	53,025
3. 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券	253,382	276,654	23,272		325,331
(2) 関係会社株式	116,430	116,430	—		116,430
(3) 長期性預金	300,000	300,000	—		300,000
(4) 保険積立金	270,565	282,285	11,720		271,829
(5) 繰延税金資産	95,674	64,115	△31,559		87,396
(6) その他	79,726	117,335	37,608		119,130
貸倒引当金	△17,329	△13,013	4,316		△13,232
投資その他の資産合計	1,098,449	1,143,807	45,358	4.1	1,206,886
固定資産合計	3,460,682	3,532,319	71,637	2.1	3,580,827
資産合計	6,350,653	5,879,930	△470,723	△7.4	6,419,373

科目	前年同四半期末 (平成19年12月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年12月期 第3四半期末)	増減		(参考) 前期末 (平成19年12月期末)
	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)	増減率 (%)	金額 (千円)
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 支払手形	252,415	149,540	△102,874		379,148
2. 買掛金	305,231	181,776	△123,454		314,362
3. 短期借入金	550,000	416,672	△133,328		422,002
4. 一年以内返済予定の 長期借入金	211,116	213,429	2,313		211,120
5. 未払金	131,429	116,475	△14,953		143,991
6. 未払費用	103,785	108,528	4,742		129,668
7. 未払法人税等	45,078	41,875	△3,203		111,918
8. 賞与引当金	102,856	64,998	△37,858		—
9. 製品保証引当金	14,128	7,300	△6,828		8,220
10. その他	81,131	57,620	△23,510		64,160
流動負債合計	1,797,170	1,358,216	△438,954	△24.4	1,784,593
II 固定負債					
1. 長期借入金	226,929	163,500	△63,429		174,146
2. 長期未払金	115,763	135,722	19,959		106,700
3. 退職給付引当金	114,908	117,023	2,115		100,655
4. 役員退職慰労引当金	104,084	107,468	3,383		106,468
固定負債合計	561,684	523,714	△37,970	△6.8	487,971
負債合計	2,358,855	1,881,930	△476,925	△20.2	2,272,564
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資本金	793,255	793,255	—	—	793,255
2. 資本剰余金	916,555	916,555	—	—	916,555
3. 利益剰余金	2,288,922	2,307,209	18,287	0.8	2,430,726
株主資本合計	3,998,732	4,017,019	18,287	0.5	4,140,536
II 評価・換算差額等					
1. その他有価証券評価差 額金	△6,934	△19,019	△12,084	—	6,272
評価・換算差額等合計	△6,934	△19,019	△12,084	—	6,272
純資産合計	3,991,797	3,997,999	6,202	0.2	4,146,809
負債純資産合計	6,350,653	5,879,930	△470,723	△7.4	6,419,373

(2) (要約) 四半期損益計算書

科目	前年同四半期 (平成19年12月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年12月期 第3四半期)	増減		(参考) 前期 (平成19年12月期)
	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)	増減率 (%)	金額 (千円)
I 売上高	4,516,632	4,011,034	△505,597	△11.2	6,155,496
II 売上原価	3,022,679	2,885,622	△137,056	△4.5	4,145,278
売上総利益	1,493,953	1,125,412	△368,541	△24.7	2,010,218
III 販売費及び一般管理費	875,916	867,977	△7,938	△0.9	1,168,686
営業利益	618,036	257,434	△360,602	△58.3	841,531
IV 営業外収益	26,342	28,199	1,857	7.1	35,458
V 営業外費用	37,176	46,319	9,142	24.6	52,010
経常利益	607,202	239,315	△367,887	△60.6	824,979
VI 特別利益	—	—	—	—	8,472
VII 特別損失	8,002	79,665	71,662	895.5	8,653
税引前四半期(当期) 純利益	599,200	159,649	△439,550	△73.4	824,798
法人税、住民税及び 事業税	264,010	90,339	△173,671	△65.8	324,820
法人税等調整額	△3,594	105,077	108,672	—	19,389
四半期(当期)純利益 又は四半期純損失(△)	338,784	△35,767	△374,551	—	480,588